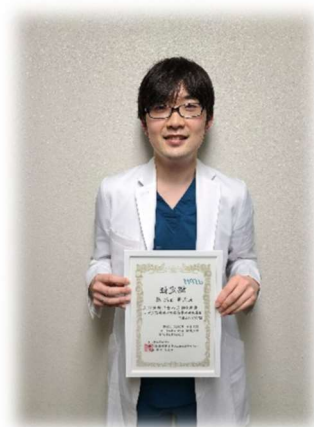


2015 年卒の大久保直紀です。

このたび 2023 年度の認定医試験に合格し、2024 年度から緩和医療学会認定医として認定されました。

以前は緩和ケアというのがん治療を終えて移行する終末期に行うものというイメージがありましたが、近年では、がんと診断された時点から、がん治療と並行して行うものとされています。(下図参照。当院緩和ケアセンターHP より引用)



まさにがん治療と緩和ケアは切っても切れない関係であり、特に腫瘍内科医には緩和ケアの知識、経験は非常に重要なものと考えられます。

認定試験の受験には専門的緩和ケアの現場での臨床経験が必要となりますが、私は当院で緩和ケアチームに参加させていただいた経験と、外勤で訪問診療を行っている経験から受験資格を得ることができました。

当院では緩和医療科の部長を臨床腫瘍科の市川教授が兼任していることもあり、2科は密に連携を取って、垣根低く協力し診療にあたっています。そのためがん治療だけでなく緩和ケアを学び、また資格を取得するにも非常によい環境だと思います。

臨床腫瘍学はもちろん、緩和ケアに興味がある先生方にもぜひ当科での研修をご検討いただければと思います。

引き続き緩和ケアを実践しながら研鑽し、緩和医療専門医取得を目指したいと考えております。

